

臨床研究内容 ホームページ公開用

1. 研究課題名称

外科的バイパス術をうけた重症虚血肢（CLI）患者の予後と周術期 ADL（activity of daily living）の関係を検討する

2. 研究の背景・目的

CLI の治療目標は、救肢、生活の質（QOL）の改善、生命予後の改善です。救肢のためには血行再建が必須ですが、QOL や生命予後の改善のためには、血行再建の成功のみでなく、診療部門横断的な集学的治療が必要であり、とくに術後のリハビリテーションによる ADL の改善は重要です。今回の研究は、ソケイ靭帯以下動脈領域における外科的バイパス術を受けた CLI 患者のアウトカムと周術期 ADL の関係を明らかにし、CLI 診療に役立てることを目的とします。

3. 対象者および対象期間

2005 年 1 月～2016 年 12 月までの 12 年間に初回の、ソケイ靭帯以下動脈病変に対する待機的血行再建術（外科的バイパス術）が施行された患者様が対象です。

2017 年以降も対象症例を追加登録します。

4. 研究内容

対象症例の患者背景・一般身体所見、合併症・既往症、各種検査データ、術後経過などを登録し、後ろ向きに解析します。

5. 個人情報の管理について

データの集計の際は患者名を匿名化し、個人を特定できないように配慮します。

6. 研究期間

許可日より開始します。終了時期は未定です。

7. 医学上の貢献

ソケイ鼠径靭帯以下動脈領域における外科的バイパス術を受けた CLI 患者のアウトカムと周術期 ADL の関係を明らかにすることは、外科的バイパスの適応を決定するにあたり、非常に意義深く価値あることと考えられます。

8. 研究機関

製鉄記念八幡病院血管外科・リハビリテーション部

済生会八幡総合病院血管外科・リハビリテーション科

9. 連絡先（研究責任者）

上記研究対象期間において該当になる方で研究に対して不都合がある場合や研究に対して ご不明な点がございましたら下記の連絡先まで連絡をください。

製鉄記念八幡病院リハビリテーション部 島添裕史

805-8508 北九州市八幡東区春の町 1-1-1 TEL:093-671-9318